

# ↑「耳マーク」の掲示と 筆談配慮にご協力ください

聞こえない・聞こえにくい方は  
こんなことで困っています。

- マスクをつけたまま話されると「口（くち）の形」が見えないため内容がわからない。
- 何度も聞き返しにくい…。
- 聞き取れないため筆談をお願いしたいが、タイミングが取りづらい。

「耳マーク」掲示で筆談配慮の意志表示があると  
こんな効果が望めます。

- ◆ 患者さんとの意思疎通が、より確実になります。  
伝達もれや“未理解同調性”の抑止にもつながります。  
筆談の併用で、患者さんも自身の病状を深く、正しく  
理解でき、的確な治療にもつながります。

※「未理解同調性」とは、聞こえなかった部分について、聞きなおさず  
あいまいな理解のままにしてしまうような心理のことを指します。

- ◆ 通訳者を同行できない、聞こえない・聞こえにくい  
患者さんの精神的負担が、軽くなります。  
(筆談等の配慮を依頼しやすくなる)



※ 掲示例を裏面に掲載しております。ご参考としてください。

【 掲示例 】

耳の不自由な方は  
筆談しますので  
お申し出下さい



聞こえが不自由なことを表す  
『耳マーク』です

【 既製品 】

(両面プリント・ラミネート加工)



「耳マーク」は、(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会が管理しており、利用申請が必要ですが、同団体で販売する既製品を使用する場合は利用申請は不要です。  
詳細は「全難聴ホームページ」(耳マーク部)をご参照ください。  
<http://www.zennancho.or.jp>